

加藤繁 かとう しげる 支那經濟史學者、文學博士。明治十一年九月二十日高根縣
松江生れ。昭和二十一年二月七日歿（八六〇—一九四六）。舊姓内田。録と
と異る。明治二十九年東京帝國大學文科大學支那史學選科卒。法政大
學豫科講師、臨時臺灣事情調查會補助委員、漫遊義塾大學教授を経て、
昭和十一年東京帝大教授となる。「唐宋時代の於ける金銀の研究」の
より帝國學士院恩賜賞受賞。本邦支那經濟史研究の開拓者。浮世繪研
究家内田實の實弟。また兄と共に俳句を能くした。

著書、「川台教授還曆記念論文集」（合著・川台貞一教授還曆祝賀會
編、昭和六年十一月二十日川台教授還曆祝賀會）、『史記基準書・漢
書食貨志』（釋註、昭和十七年九月、千五石岩波書店「岩波文庫」）、
『絶對の忠誠』（昭和十八年十一月十日京都・丁字屋書店「日本製菓
叢書」）、『東亞史研究』（合著・前田廣記編、昭和十九年九月十日
生活社「東亞問題」終刊號）、『支那學雜草』（昭和十九年十一月十
五日生活社）、『始皇帝其他（秦漢の人物）』（昭和二十一年二月十
日生活社「日本叢書」）、『中國經濟史の開拓』（榎一雄編、昭和二十
二年一月二十日櫻菊書院）、『舊唐書食貨志・舊五代史食貨志』（譯
註、昭和二十二年七月二十日岩波書店「岩波文庫」）、『加藤繁俳句
集』（昭和二十七年十一月十日加藤陽村）等。